

検査・測定と評価Ⅱ

科目ナンバリング SPS-308
選択 2単位

佐保 泰明

1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナーに必要な検査・測定・評価の理論、スポーツ基本動作のバイオメカニクスとその動作を評価する視点を学ぶ。また、基本的な静的アライメント測定、関節可動域計測、徒手筋力検査を実施できるようにする。

2. 授業の到達目標

- ・アスレティックトレーナーに必要な検査・測定・評価を説明できる。
- ・スポーツ基本動作をバイオメカニクスの視点から説明でき、評価することができる。
- ・静的アライメント、関節可動域測定、徒手筋力検査を実施できる。

3. 成績評価の方法および基準

レポート課題30%、筆記試験70%で評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

日本体育協会公認アスレティックトレーナーテキスト⑤検査・測定と評価

参考文献

新・徒手筋力検査法 原著第9版

5. 準備学修の内容

次の授業で行う検査・測定・評価項目について提示するのでまとめること。

6. その他履修上の注意事項

検査・測定と評価Ⅰ、バイオメカニクスⅠ・Ⅱ、アスレティックリハビリテーション概論を履修していることが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス・オリエンテーション
アスレティックトレーナーに必要な評価について学ぶ
- 【第2回】 姿勢・身体アライメントについて学ぶ
- 【第3回】 関節可動域の測定方法について学ぶ(上肢)
- 【第4回】 関節可動域の測定方法について学ぶ(下肢)
- 【第5回】 関節可動域の測定方法について学ぶ(体幹)
筋タイトネスの検査測定方法について学ぶ
- 【第6回】 徒手筋力検査法について学ぶ(上肢)
- 【第7回】 徒手筋力検査法について学ぶ(下肢)
- 【第8回】 徒手筋力検査法について学ぶ(体幹)
実技テスト(関節可動域・徒手筋力検査法)
- 【第9回】 スポーツ動作の観察と分析について学ぶ(座学:歩行・走動作)
- 【第10回】 スポーツ動作の観察と分析について学ぶ(実技:歩行・走動作)
- 【第11回】 スポーツ動作の観察と分析について学ぶ(座学:方向転換動作・跳動作)
- 【第12回】 スポーツ動作の観察と分析について学ぶ(実技:方向転換動作・跳動作)
- 【第13回】 スポーツ動作の観察と分析について学ぶ(座学:投動作・あたり動作)
- 【第14回】 スポーツ動作の観察と分析について学ぶ(実技:投動作・あたり動作)
- 【第15回】 まとめと試験